

体験版

第115回 看護師国家試験対策

夏期講習 テキスト

このPDFについて

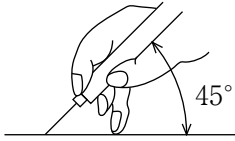
- ★このテキストは、一般問題・状況設定問題で構成されています。
夏の時期に基礎知識を養うのに最適なテキストです。
- ★本PDFは、115回対策テキストの抜粋で構成しております。



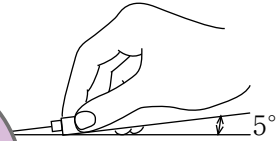
東京アカデミー

40 静脈血採血の刺入角度で正しいのはどれか。

1.

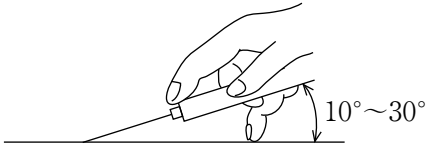


2.

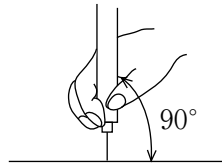


注射針の角度はよく出るので、絶対に覚えておこう！

3.



4.



41 客観的情報はどれか。

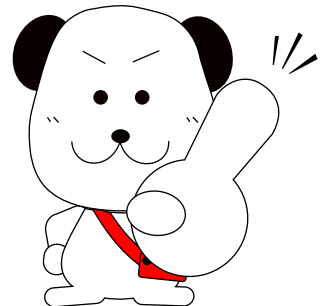
1. 体重60.5kgという管理栄養士の記録
2. 「昨日よりはいいです。」という家族の話
3. 今日は頭が痛いという患者のメモ書き
4. 腹部が痛いので薬がほしいという患者の訴え
5. 何となく午前中とは違うと看護師が感じたこと

学習が進んだら、選択肢それぞれについてご自分で説明してみましょう。
それができれば、何が問われても対応できるようになります！

42 創傷治癒を促進させる因子はどれか。

1. 湿潤
2. 圧迫
3. 低栄養
4. 化学療法
5. ステロイドの与薬

基本事項を確認する問題やイラスト問題が多数掲載されています！



は $306 \div 3 = 102$ (分) となる。

44 正答 10 <目標Ⅱ-5-C>

2%リドカイン塩酸塩溶液5mL中
よって、 $0.02 \times 5 = 0.1$ (g) である。
インが存在する。これを1分間に2mg
入することになる。したがって、1分間

同じような問題を見たこと
があるのに正答を絞れない、
ということがないよう、
夏から基礎をしっかり固め
よう！

オープンセサミ①P.341参照

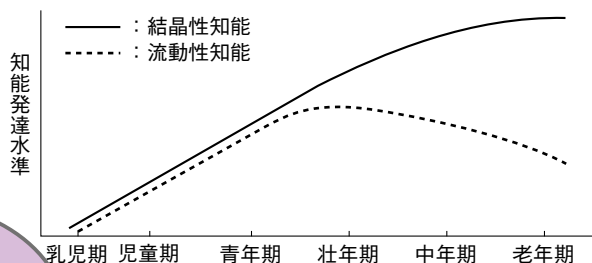
×薬液量 (mL) で求める。
中には100mgのリドカ
 $100 \div 2 = 50$ (分) かけて注
(mL/分) となる。

オープンセサミ①P.342参照

成人看護学(一般問題)

45 正答 2 <目標Ⅰ-1-A>

流動性知能は情報をキャッチし処理する知能をいい、暗記力、計算力などが該当する。



図表を用いてわか
りやすく解説して
います。

色ペンやマーカーを
使って解説をご自分の
ノートとして活用しま
しょう！

れて以降、発達する能力である。
期に最も発達し、壮年期以降徐々に低下する。
知恵は、結晶性知能によるものである。
対処する能力は、結晶性知能が関連する。

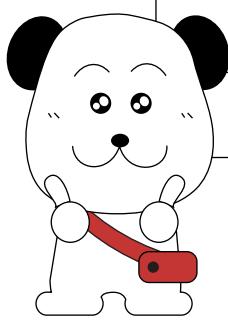
オープンセサミ②P.5参照

46 正答 1 <目標Ⅱ-3-A>

承認の段階は、積極的な看護介入(危機介入)が重要な時期である。

フィンクによる危機モデル		危機介入法
衝撃	強烈な不安 パニック 無力状態	自己の存在が直接的に脅威にさらされてい るため、安全に対するあらゆる手段を 講じる必要がある。
防御的退行	無関心 現実逃避 否認 願望	患者の情緒的エネルギーを保存し、現実の 状況よりはつきりさせ、それに直面する ように入介入する。
承認	無	患者への看護介入が重要な時期で 持と力強い励ましのもとに 察を深められるように入 自己評価を行え、現実の能 活用して満足が得られる経験を よって、成長を促す。

選択肢ごとの解説と
オープンセサミ参照
ページを確認するこ
とで、知識が身に付
きます

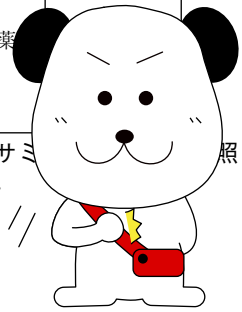


オープンセサミ②P.18参照

	薬剤名	主な薬品名	
オピオイド	【ロイド性消炎鎮痛薬 (NSAIDs)】 エナクナトリウム フェンナトリウム水和物 シン	ボルタレン ロキソニン インドメタシン アスピリン	非麻薬性
	【痛薬】 ノフェン	カロナール	
	ゾシン	ソセゴン (内服薬)	非麻薬性
	トフラマドール塩酸塩	トラマール (内服薬)	
	コデインリン酸塩	コデインリン酸塩 (内服薬)	麻薬性
	ブプレノルフィン塩酸塩 ブプレノルフィン	レペタン (注射薬) ノルスパン (貼付剤)	非麻薬性
	モルヒネ塩酸塩	アンベック (坐薬) (内服薬)	
	モルヒネ硫酸塩水和物 フェンタニル フェンタニルクエン酸塩 オキシコドン塩酸塩水和物 ヒドロモルフォン塩酸塩	(注射薬) (剤) 膜吸収薬 (薬)	

このテキストでしっかり基礎知識を培い、秋以降の学習につなげよう！

「事例のポイント」で、疾患についてのポイント、本試験によく出される内容を確認できます



64 ~ 66

事例のポイント

かなり複雑な状況設定でのドナー (臓器提供者) とレシピエント (移植希望者) についての出題である。正常な腎臓の働きと、長期透析患者の身体および心理的变化、内分泌の働きについて理解しておきたい。また、移植後の身体変化は腎障害によるものではなく、長期透析によって変化した身体の回復過程であることにも注意したい。

64 正答 2

1. × 睡眠薬の使用は医師が判断する。また、Aさんはさまざまな思いから不眠になっていることが考えられるため、まずは話を聴き、原因・要因を確認して、それに応じた対応をする。
2. ○ 5年前の叔母からの生体腎移植... 自身が邪魔するのではないかとという後ろめたさなど、涙を流すほど思い... 出し、共に考えていくことが必要である。
3. × Aさんは以前、腎... 成功例を伝えることがA...
4. × Aさんの気持ちを

看護師としての対応方法を問う問題はよく出されます。解説をしっかりと読んで、実践にもつなげていこう！



65 正

- 提供者) について... 注意する。片腎を提供後は、残った腎臓の血流が... だけで提供前の70~75%程度の腎機能をまかなうことができるようになる。
1. ... 院期間は術後1週間程度であることが多い。レシピエント (移植を受ける患者) の入院期... 設によるが術後2~6週間程度となる。
 2. × ... 免疫抑制薬の内服は必要ない。レシピエントには、移植後の拒絶反応を防ぐため免疫抑制薬... が必要になる。
 3. ○ ... ほとんどのドナーが、提供前と変わらない生活を送ることが可能だが、腎予備力が減少する

- ことから腎機能が低下する可能性も否定できない。腎機能が低下した場合には易疲労となりやすい。
- × 腎臓が一つになり、予備力が低下する可能性があるため、年に一度は定期的な検査が必要となる。

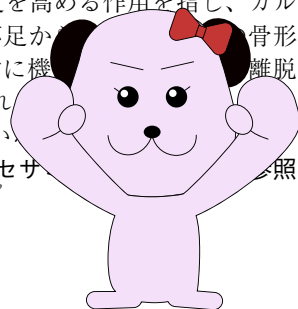
オープンセサミ②P.234～235参照

66 正答 3

- × 腎臓由来のエリスロポエチンの生成が活性化し、腎性貧血の改善がみられる。
- × 移植腎が生着し、腎機能が回復することにより、リンの排泄機能も正常化し、高リン血症の改善がみられる。
- 骨化(骨形成)とは、血液中のカルシウム濃度を高く保つために、骨密度を高める作用を指し、カルシウム代謝が正常に機能していることから、ビタミンDの不足が骨形成を阻害され、骨粗鬆症になりやすい。専門基礎を見直そう
- × 腎不全の進行によりアシトシス

「こんな場合は」「専門基礎を見直そう」を活用して、疾患についての知識を深めよう！さらに、実践に役立てよう！

骨密度を高める作用を指し、カルシウム代謝が正常に機能していることから、ビタミンDの不足が骨形成を阻害され、骨粗鬆症になりやすい。専門基礎を見直そう



こんな場合は

〈移植後、尿量の減少がみられた場合〉

多くの場合、移植直後から排尿がみられる。しかし、移植後の拒絶反応が起こる可能性は長期間にわたってあるため、患者は尿量の変化を敏感に捉えている。尿量減少や老廃物蓄積の場合には、一時的に血液透析が行われる。このとき患者は、移植の失敗を強く感じる人が多いが、援助者が容易に成功か失敗かを判断してはならない。たとえ透析が適応されても、それが失敗を意味するものではないことを伝え、患者の衝動的な行動を防止するよう努める。また、患者が落胆している場合には共感的対応が望まれ、患者の闘病意欲を失わせないように心がける。

オープンセサミ②P.234～235参照

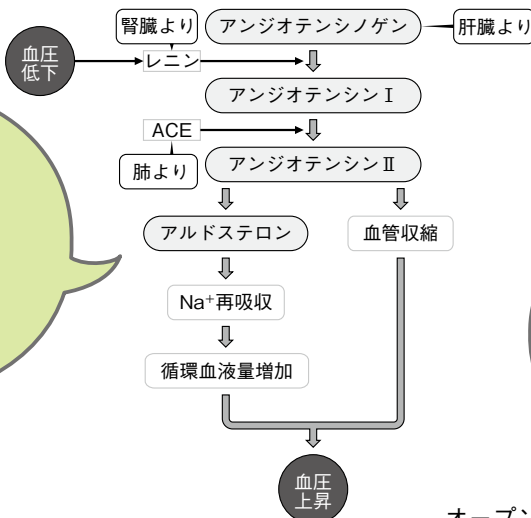


専門基礎を見直そう

〈レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系の血圧調節〉

人体の血圧は、主に神経系とレニン-アンジオテンシン-アルドステロン系によって調節されている。

レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系



受験生が苦手な人体・疾病に関する内容をまとめています。苦手なものこそ、早く取り掛かって「自信」に変えよう！

オープンセサミも必ず確認し、周辺事項も確認しよう！

オープンセサミ①P.158～159参照



東京アカデミー

受講生限定